

厄神様の 優しき寝取り

Penetrate
For Adult Only

総天然色



御伽噺

山に優しき女神在り
人の背負いし
厄を払いて
安息をもたらず

その容姿
花のやうに
美麗にて
柔らかき心持ち
木漏れ日のごとく
人を癒すと言ふ

されどまたれよ
近づきなざるな
げに恐ろしき
厄神なるぞ

一度触れば
戻らぬ傷が
二度触れば
戻らぬ心が
三度触れば
戻れぬ里に
げに恐ろしき
厄神なるぞ

いい天気ね...
日課の厄の回収も
終わったし

家に帰って
穰子に貰った
お茶でも...

ま...飲むのは
一人だけど
それはいつもの事...



ふわっ

秘神流し雛 厄神
鍵山 雛



人間?
守矢の参拝客
かしら...?

?

何をして...



自殺?



駄目ーっ!

なっ...



この人…
凄いな…
わ

?

貴方に何があったかは
わかりませんが…
私でお話を聞かせ下さい
力になれるかもしれませ



私は鍵山雛
この山の厄神です

や…厄神
君が…



自殺なんて
いけません！
何を考えて
いるんですか！

き…
君は…
一体…



もう…彼女がいる
里にも居たくないし
かといって他に人間が
住める土地が
あるわけでもないし…
だから…

よくある話だけど…
可哀想に…
こんな傷ついて
見捨てては…
置けないわ…



…僕は里で鍛冶屋を
営んでいるんです
結構繁盛もしてて…

それで最近になって
服問屋のお嬢さんとの
結婚が決まって
準備とかもしてたんです
が…その…振られまして

婚約まで
していたのに
…ですか？
その理由は？

…他の男に
とられた…
つてとこでしょうが

…そう
ですか



製鉄は
出来ますか？

…え？
まあ…うん
鍛冶屋だし…

河童の方々が鉄を
扱える者を探して
里に戻りたくないと
そちらで仕事を
しているのか



さ...



死んだって何も変わらないわ
私の家にいらっしやい？
そこから河童達の所に
通えばいいわ

でも...その
いいんでしょうか
気ないで



は...はい

ドキ...



そして雛もまた嬉しかった
孤独では無くなったからだ
厄神というだけで人は
離れていくが、男はさほど
気にしていなかったから

ただ一つ...
雛には
気がかりな事が
あった...



2週間はたっただろうか
男はとてもよく働いた...
腕は本物であり、河童達も
非常に喜んでいた



いってらっしゃい
気をつけてね

うん
いってきます
今日はイワナが
貰えるみたいだよ

じゃ塩焼きの
準備をしておくね



いやーいい人が
来てくれたね

雛に感謝しないとねえ
金型渡してネジとかも
作ってもらおうか

労働の対価に食料を貰い
また他の山の妖怪達にも
男を襲わないように
河童達は言い聞かせた
(山では河童は強い方)



それから毎夜…
雛は手コキで男を
射精させた

ん…
精液出たね

気持ち
よかった？

ん…
良かった

だがそれでも男の厄は
抜けきらなかつた
以前より
減ってはいたが…

手では足りないのだろうか？
雛は口での奉仕を始めた
フェラチオなどした事は
無かったが男の為に…

と…特別…
ですからね

射精したくなったら
お口の中に入れて
いいから…ね？

熱く火照る口内で
男の性器を
しゃぶり
喜んでほしかった

ぐっ…
イクっ…!

本当は口でも手でも
厄の払える量は同じだと
知ってはいた…
だけど雛は男の喜ぶ顔が
好きになつていた

熱い…
精液…出てる
美味しい…

ん…
ん…
ん…

れっ…

ん…

ん…

ん…

そんな事が連日
続いたある日の事

今日も厄の
回収は
終わりつと

…普通の人間なら
大量の厄があつても
すぐに払えるのに…
どうして
あの人の厄は
中々払えないのかな？
少しづつ
減ってはいるけど
不思議ね…

…？
あれは…
人間？

女の子みたい
だけど…

その山は危険です
早々に里に
戻りなさい

守矢の参拝なら
安全な道が…

あら…
ちょうどいいわ
聞きたいんだけど

この山に
二十過ぎくらい
の男が迷い込まな
かった？
浅黒い肌の感じ
のヤツ

…あの人の
ことね
…この娘？

その方なら…
私の家に滞在さ
れて

あっそ
んじゃとつとと
案内して頂戴
連れて帰るから

連れて
帰る…

あの…
失礼ですが
ご家族の方か

家族うー？
まーそーなるの
かなー
アタシそいつの
婚約者だしねー

…やっばり

そ…
そうでしたか
失礼しました

なんだ…
振られたなんて
あの人の勘違い
なのね…
こんな危険な場
所に
探しに来て
くれるんじゃない

私…
何言ってるんだ
ろ
こんなの
波風立てるだけ
じゃない…

…しかし
あの方は婚約者
には…その
手酷く振られた
と…
里には戻りたく
ないと…
おっしやられて
いました

あの人だつて
婚約者の所に
戻りたいはず



ふられたー？
アハハハハハハ！
馬鹿じゃないの？

あんなの
ちよっとした
お遊びなのにさ！

……？
どうい
う意味
です？

アタシさあー
アイツの困った顔とか
悲しい顔見んの
好きなのよねー

ドキドキしながら
来たと思うわよお？

だからさあ
夜中アタシの部屋に
呼んだのよ

結婚の事で……
大事な話があるの
ってさあ

んで見せ付けて
やったわけー



アタシと下男が
エッチしてるとこ

アイツのより
すっごい太くて硬いっ
もつと突いてっ！

あっ
もう出るの？
飲んだげる

あっ
いいわよっ

そんな時の顔ったら
アイツの顔見たら
死にそーな顔してたし

すぐどっか走って
もーちよいかの顔
見たかったのよねー
その後見なくなるしさー



はあ？

帰れって
何のつもり……



まーそんだけの事よ
戻ってきてもらわないと
困るのよねー

まだ試したいさあ
ネタもあるしさあ
貧乏人の鍛冶屋がアタシと
結婚できるってんだから
もつと楽しませて
くれないと……

帰りなさい



結構単純な性格だから
すぐケロツとするし
また試したいのよねー



人間をっ…
家に連れ込んで
帰さないって噂の！
御伽の男をっ…
アタシの男をっ…

あっ…あっ…
あんなっ！
厄神っ！
厄神でしょ！



……

ひっ…



…今すぐに
山から去れ
そして二度と
立ち入るな

さもなくて
死より苦しく
恐ろしい厄に
取り付かれた
生を歩む事になるぞ



ずっと見えてた黒い厄は
厄じゃなかった
大きな傷の色だったんだ

なにが厄を集めて
人を癒す厄神よ

…私はあの人の傷を
癒してあげたい…
あの人を幸せにして
あげたい…



…人が傷つく
顔を見て喜ぶ…
なんて酷い
人間だろう…

…私は
気付いて無かった
あの人の傷の深さに…
厄を払えないはずよね…



厄神なんて…
これはマズイわ

くっ…



あっ…あんなにかっ！
薩の巫女に頼んで
殺してもらうんだから！

覚悟して
なさいよ！
この妖怪め！





おちんちん
じゅぽじゅぽしながら
コリコリしちゃ
だめえ……っ！

あっ……あっ！
ちくびっ……
だめえ……

ふぁあ
あぁ

あぁ♡

あぁ♡

ん

あぁ♡

あぁ♡

あぁ♡



ねっ……お願いっ
キスして……っ
キス……っ
ちゅーってっ

あぁ♡

あぁ♡

ん

あぁ♡

あぁ♡



あつ...あつ!!
あなたもイってえ!
私もう...イったからあ

う...んっ
そろそろ...っ

うんっ
イってえ...っ

ひなのおまんこに
出していいからねっ
いっばい腫にだしてっ

だしてっ
せいえきっ



っああつ!
だめっ
だめえっ!



まだっ?
まだあつ...?

わたしっ...
わたしっおかしく
なるう...っ
ああつ!

いくっ…
いくのおっ!
またきちゃうっ!

うっ…っ
いくっ…
いくよっ…
雑っ

おまんこっ!
おまんこもっ
締めるからっ!
いつてえ…っ!
せいえき…
ちようだいっ!

いってっ♡いってえ!
おちんちんいってえ!
ひなのおまんこで
精液たくさんっ…
だしてえっ!





あーあーあーあー
ながー...ぞてる...

おい

おは

あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー

あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー
あーあーあーあー

あーあー

あーあー



あの女の事なんか
思い出さないくらい
私がいっぱい愛して
あげるから……
……貴方も私を愛して

ん……私といっぱい
練習しましょ？
いつでも
してあげるから



はあ……
もうっ……
何回いったか
わからないっ……

ご……ごめん
僕あんまり
エッチに
慣れてなくて……



フン……
私をびびらせた
思い知るといいわ

ま……実際
寝取られた訳じゃ
ないんだけど
こう言っとかないと……
……しかし……妖怪の家か……
……アイツ無事だと
いいけどね



この妖怪スレイヤー
東風谷早苗に
お任せ下さいっ！
キツチリケジメ
付けさせるか
ネギトロに
してやりますよ！

お賽銭も
たっぷり弾みますし
お願いしますうー！



きゃー☆
さすが守矢の
ミラクル☆巫女さんっ！
なんでもない凶悪な妖怪
なんですすよー！

それで……その木っ端妖怪は
こっちに居るんですね？
人の旦那を寝取るなんて
言語道断ですッ！

すっごい面白そう
なシチュエーションっ
屋ドラみたいです！

幻想郷一のイケイケ☆ドンドン
東風谷★早苗

続く……

発行日 2014/8/16
発行 Penetrate (ペネトレイト)
著者 零覇 (レイハ)
連絡 reiha@2wo.cc
PixivID 24621
印刷 トム出版